

13.9.7-8 富士山山行報告

M2 田中李樹

①参加メンバー：5名(敬称略)

M4 千葉 寺村 M3 荒川 M2 田中 M1 堀江

②行程

1日目 9月7日(土)

新宿住友ビル内1F WILLERバスターミナル新宿西口 07:30～(バス)～11:00 スバルライン五合目～12:00 泉ヶ滝～12:30 六合目、富士山安全指導センター～13:30 七合目～14:30 八合目～16:00 本八合目トモエ館(小屋泊)

2日目 9月8日(日)

本八合目トモエ館発 05:00～05:30 九合目～06:00 山頂 07:00～07:30 九合目～8:00 八合目～10:30 スバルライン五合目

③本文

今年世界遺産に登録された富士山に登頂した。天気予報では雨天が予想されたが、今回は往復のバスと山小屋一泊二食がセットになったパックツアーのようなものを利用しており、日程の変更が出来ず計画通り出発することになった。計画段階で調べたところ、富士山の山小屋は予約が原則で、パックツアーでなくともキャンセル料が発生するということだった。やはり登山の対象としては非常に特殊な山なのだと感じた。

出発は土曜の朝、新宿に集合し高速バスで富士五合目を目指した。スバルライン五合目は、登山口というより一観光地のような趣で、全体的に若者の目立つグループで賑わっていた。ここで一時間ほどのんびりし、登山開始。基本的には、単調な斜面をジグザグに登っていく感じで、登山道は非常に広い。登山道を囲う構造物も大型で、下から見るとさな



がら要塞のようにも見えた。混雑が予想されたが、この段階ではそれほどでもない。ただし、雨には降られていないものの視界は殆どなかった。

七合目を過ぎたあたりから登山道の雰囲気が変わり、岩の多いごつごつした道を登っていった。多少傾斜のきついところもあった。また、この辺りから雨が降り始めザックカバーをつけたが、霧雨程度のもので登りに支障はなかった。ゆっくり本八合目の山小屋を目指す。

宿泊する山小屋に到着したのは16時前だった。半個室のようなところに5人で通され、寝袋で寝ることになった。一時間ほどで夕食。夕食時には、山小屋職員が熱心にグッズ販売を行



っていてなかなか面白かった。防寒着のレンタルサービスや、限定のバッジなど山小屋らしからぬ商売をしていて、新鮮。小屋自体は快適だったと思うが、かなり遅い時間に到着する団体客が多く、その度にテレビショッピングのようなグッズ販売を行っていたの

で、寝付きにくかった人もいたと思う。



小屋に到着して暫くすると、多少ガスのはれるタイミングがあり、天候に恵まれなかった今回の山行の中ではなかなか良い景色を拝むことができた。



翌日は、2時に小屋を出発し山頂でのご来光を目指す予定だったが、起床するとあいにくの雨。ご来光は諦め、のんびり5時頃出発することにした。風もやや強かったが、レインウェアを着込み山頂へ。山頂に近づくにつれ風が強くなり過酷な道のりであったが、わずか一時間ほどで山頂に到着した。悪天候にもかかわらず山頂手前は多少渋滞していたのだが、ご来光を目指す場合の標準的な小屋出発時間は日の出三時間前の2時とされており、好天時の混雑のほどがうかがわれる。山頂には神社があり、雨宿りも兼ねお参り。(ただし賽銭は省略。その後、近くの山小屋に移動しコーヒーや甘酒を飲んで体を温めた。飛ばされそうな風のため、お鉢めぐりは諦め下山を開始した。





山頂で記念撮影をして、下山開始。下山道は登山道と分かれており荷揚げのブルドーザーの通る道を下りた。登り以上に単調な道で、宿泊していた山小屋に立ち寄って荷物を回収してからは、ほとんど休憩もなく下山した。下るほどに雨風は弱まり、樹海と思われる森林や周囲の湖を雲間に望むことができた。五合目に着き振り返ると、頭に雲をまとった富士山がそびえて



いた。五合目で服を着替えほっと一息。行きと同様、高速バスで東京に戻った。



実は、同じ日程の女性限定ガイド付きツアーがバスに同乗していたのだが、彼女たちは登頂を諦め本八合目の小屋から直接下山したとのこと。特に山頂付近は非常に過酷な環境だったが、今回の山行の目的は富士山の山頂を踏むことであり、とにかく目的を達成することができ良かったと思う。近々とはいかないが、いずれまた天気の良い時に再度登頂してみたいと思う。